

2018年ノーベル平和賞受賞  
ムクウェゲ医師の活動を描いたドキュメンタリー映画

THE MAN  
WHO MENDS  
WOMEN

11/15

女を  
修理する男



11/14

インターナショナル・ウィーク企画  
**アフリカ映画祭**  
With SPECIAL GUESTS



11/13

11/14  
特別ゲスト



小林茂監督  
スワヒリ語で「拾う」= ストリートチルドレンのこと 意味する「チョコラ」。ケニアの地方都市で長期取材を行い、ストリートを舞台に繰り広げられる

子どもたちの儚くも力強く生きる姿を描き出した。

11/15  
特別ゲスト



WELgeeは、日本にやって来た難民の若者たちと誰もが活躍できる未来を作っています。紛争、弾圧、治安悪化などから、祖国を逃れざるを得ない難民の数は世界で7000万人超。祖国を失い、逃れた国でも、未来を奪われた難民たちが、ここ日本にもいます。

11/13  
特別ゲスト



渡辺 直子さん  
日本国際ボランティアセンター南アフリカ事業担当。「収入」や「生産量」というようなデータでは測れない「安心」や「誇り」が現地の人たちにもたらす喜びや幸せを支えていける社会をどうやってつづけていくのか模索中。

International Week 2019  
African Cinema Festival

11.13(Wed) ,14(Thu), 15(Fri)

17:10-20:00 (16:50開場)

多摩キャンパス8号館 8305号室

入場無料  
事前申込不要



中央大学では国際化を推進するため、キャンパス全体をグローバルな学びの場とすべく「インターナショナル・ウィーク」を開催しています。今年のテーマは「アフリカとアジア途上国」。有望なビジネス市場として注目される一方、世界の最貧困層の半数強がサブサハラ・アフリカ地域に集中するなど、多くの人々が未だ根深い貧困に喘いでいる地域です。私たちに何ができるのでしょうか。まずはアフリカの姿を一步知ることから始めてみませんか？

11/13 17:10-20:00  
Wed



## 『ポバティール・インク ~あなたの寄付の不都合な真実』

【監督】マイケル・マシスン・ミラー / 2014年 / 91分 配給：ユナイテッドピープル  
私たちの「支援」がもたらす問題は？正しい支援のあり方とは？途上国とどう向き合うべきなのか？ハイチやアフリカを主な舞台に、“支援される側”の人たちの生の声を伝えるドキュメンタリー。営利目的の途上国開発業者や巨大なNGOなどにより、数十億ドルにも及ぶ「貧困産業」が生まれ、そのなかで先進国は途上国開発の指導者として地位を獲得してきた。慈善活動のビジネス化が歴史上これほどまでに発展を遂げたことはない。靴を一足購入するごとに途上国に一足贈るトムシューズや、途上国発の太陽光パネルベンチャー企業、国際養子縁組やアメリカの農業補助金などについて取り上げながら、私たちに、支援のあり方について問いかける。20ヶ国で200人以上に行なったインタビューは、もはや無視することができない、“寄付の不都合な真実”を浮き彫りにする。

特別ゲスト：渡辺直子さん 日本国際ボランティアセンター南アフリカ事業担当/  
地域開発グループマネージャー

イギリスの環境保護NGO、日本の大学院を経て2005年より南アフリカで活動。2013年から、日本がブラジルとともにモザンビークで進めるODA農業開発事業「プロサバンナ」や土地収奪問題に関連して、モザンビーク小農組織との合同調査を開始、現在までに10回以上の現地調査を行う。国際NGO・GRAIN事業の日本との橋渡し役として、西・中央アフリカでの土地収奪問題にもかかわる。

11/14 17:10-20:00  
Thu



## 『チョコラ!』

【監督】小林茂 / 2009年 / 94分 配給：合同会社 東風  
ゴミと希望拾って生きる! 働くも強かな青空暮らしの子どもたち。ケニア首都ナイロビからほど近い地方都市・ティカ。この街のストリートで暮らす子どもたちは、ゴミを拾い集めて生計を立て、夜の厳しい寒さや空腹を忘れるためにシンナーを吸う。「チョコラ」とはスワヒリ語で「拾う」、侮蔑的な意味も持つ。過酷な生活の中、お互いに助け合い力強く生きる子供たち。それぞれ人には言えない事情を抱えながら...。被写体との信頼関係を起点とした映画づくりで、ユーモラスでありながら実情を描いたドキュメンタリー。

特別ゲスト：小林茂 監督

「阿賀に生きる」の撮影により日本映画撮影監督協会1回JSC賞受賞。監督作品に「こどものそら」「わたしの季節」など。新潟県の豪雪地域で制作した「風の波紋」が完成。山形国際ドキュメンタリー映画祭（2015年）で上映。今年5月、台湾国際ドキュメンタリー映画祭、ドイツ日本コネクション参加。「チョコラ!」ではケニアの地方都市ティカのストリートで暮らす子どもたちの生きる姿を追った。透析暦12年。新潟県長岡市在住。

11/15 17:10-20:00  
Fri



## 『女を修理する男』

【監督】ティエリー・ミシェル / 2015年 / 112分 配給：ユナイテッドピープル  
1人の医師の勇気ある行動が世界を動かし4万人以上の性暴力被害女性を治療した。2018年ノーベル平和賞を受賞したコンゴ人婦人科医のデニ・ムクウェゲ医師の命がけの医療を追ったドキュメンタリー。コンゴ民主共和国で性的被害にあった女性達を治療するデニ・ムクウェゲ医師は、2012年に脅迫を受け一時は海外へ。しかし翌年には命の危険を冒して再びコンゴに戻る。そして命がけの治療を再開する。

特別ゲスト：NPO法人WELgee

NPO法人WELgeeは、日本にいる難民申請者の社会参画とエンパワーメントを目指す非営利団体です。OECD諸国の中で最も厳しい難民認定率の日本で、難民認定に頼らない方法で、難民たちが自身のキャリアや人生の目標を追求できるような道筋を、民間セクターとの協働を通じて目指しています。WELgeeは、難民申請者への一方的な支援ではなく、当事者とともに(=WITH)活動することをモットーにしています。

